

●レーザー/特殊ライトによる スペース・ライティング・アート

題目 時空間における光の創造性の実験及び考察

目的 大塚地区の景観・造形物に及ぼす光の演出効果・影響について実験を行い、光による大塚地区の景観形成、地域コミュニケーションのありかたについて考察する。

概要 レーザー、特殊ライトを使い、景観・造形物に及ぼす光の演出効果・影響について実験していく。大塚地区とその周辺地域の地形、空間構成要素、夜間の景観について調査を行い光の造形表現、演出方法について検討していく。さらに1/200モデルを使った具体的なライトアップやレーザーによる試みなどプレゼンテーションの計画を詰めていく。実験の実施はアジア競技大会の開催期間とし、学生もチームに加わりタイムスケジュールに添って実施していく。基本的にはライトアップ効果による建築・景観の変容実験や、レーザーによる様々な試み、ライトアップとレーザーの複合による視覚的效果の実験などが考えられる。その過程、結果は学内、大塚地区、広域公園、A.CITYの各所から確認、記録し解析していく。

(最終的な研究報告については、別紙にて報告)

会場 広島市立大学

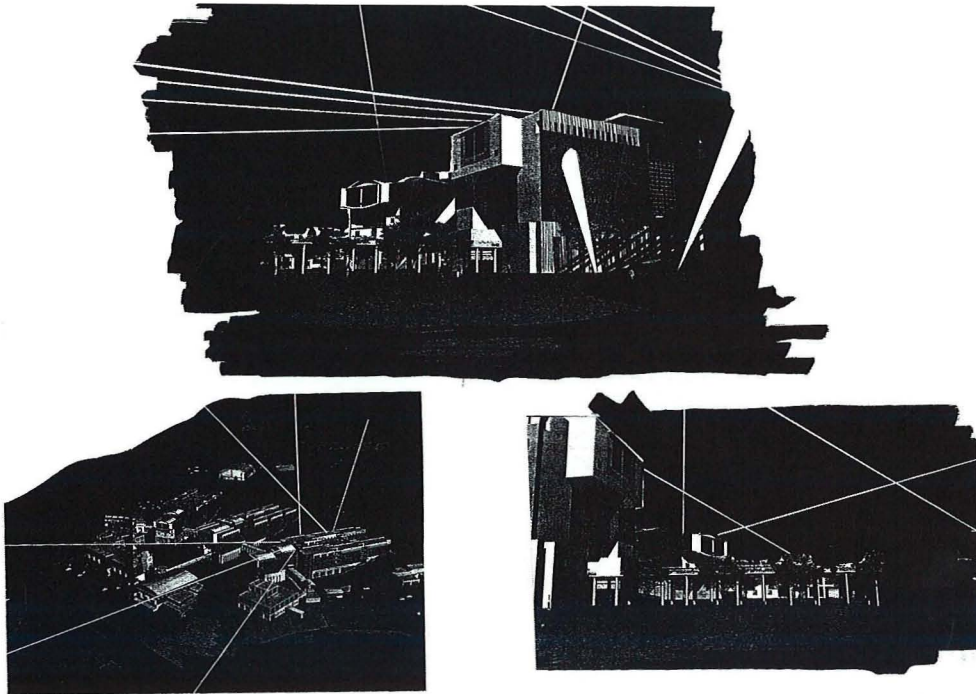
日時 10月2日(日)～10月16日(日)
18:00～21:00

基本計画打合せ風景



実施計画

1. 大塚地区の地域、地形、時空間構成要素に関するサーベイ
2. 光源についての（ハード的）調査、研究
3. 1.2.の調査解析をもとに光による造形表現・演出のありようについての思索・検討
4. 試作モデルによる実験にて造形表現・演出の確認・検討
5. 実施期間はアジア大会期間中として大学構内及び対面の広域公園からの視覚的効果を確認する。
6. 実施後、多視点からのヒアリング、アンケート調査（内外からの一般観覧者等）
7. 調査実験結果解析……まとめ（報告書・録画VTR等作成）



1/200 スタディーモデル

代表	及川久男 助教授
総括・調整	大井健次 教授 磯野清夫 教授
造形計画	若山裕昭 助教授 吉田幸宏 講師
調査・データ収集	永見文人 助手 堀 研 助教授 友安一成 助教授 吉井 章 助教授 佐々木正 助手 森永昌司 助手
計画・モデル・記録	市立大学学生有志
研究協力	栗山 繁 情報科学部 助教授 (画像シミュレーション)

